

# 愛着と向社会的行動の関係性

奈良県立青翔高等学校2年 上村美結 米田朱里

## 思いやり指数

思いやり指数  
CAF WORLD GIVING INDEX 2022  
(CAF Publications, 2022)



見知らぬ人を助けたか



募金をしたか



ボランティア団体に参加したか

n=119

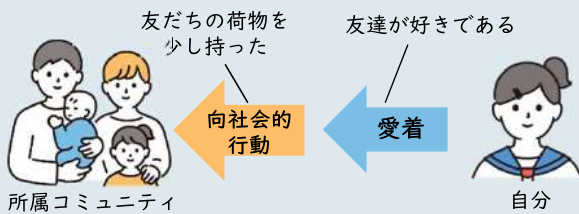
COUNTRY

Japan

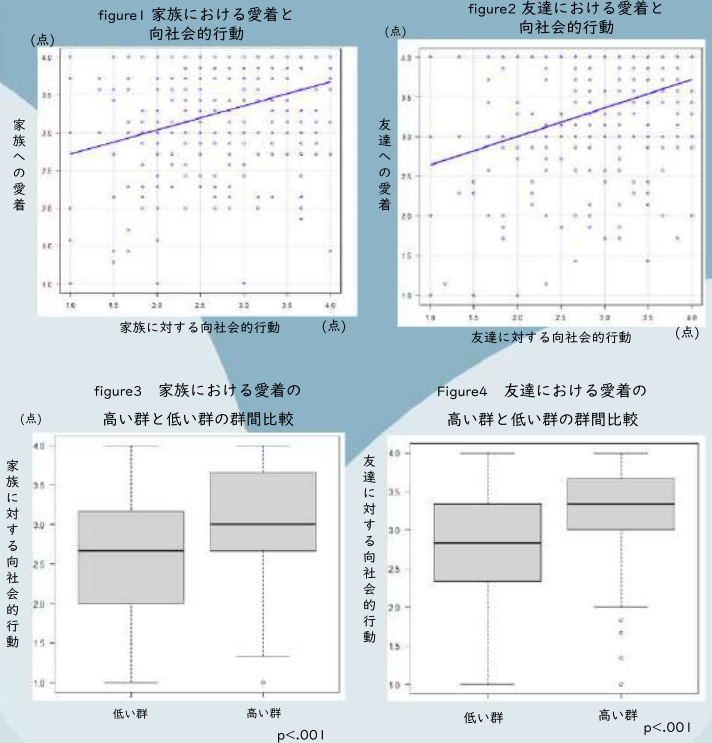


## 愛着と向社会的行動

愛着が向社会的行動の促進因なのかを検討



## 分析結果



## アンケート内容

アンケート対象：青翔中学・高校の中高生  
353名(12~17歳)

### ①向社会的行動

対象：見知らぬ人 友だち 家族

全18項目(村上・西村・櫻井, 2016)

例)知らない人が重そうな荷物を持っているとき、手伝った。

4件法(①やったことがない~④よくした)

### ②愛着

対象：友達 家族

全14項目(諸星・山口, 2019)

例)友達がいると心地よくて、落ち着くことができる

4件法(①全くあてはまらない~④よくあてはまる)

## 考察

### 相関分析の結果

家族に対する愛着と家族への向社会的行動

友達に対する愛着と友達への向社会的行動

➡ 正の相関

### マンホイットニーのU検定の結果

家族に対する向社会的行動が 高い群  
低い群

➡ 有意な差  
認められた

友達に対する向社会的行動が 高い群  
低い群

愛着は向社会的行動の促進因の1つであると示唆された

## 参考文献

- ・ 中あゆみ, 石津憲一朗 (2013) 共感性が向社会的行動に及ぼす影響, 富山大学人間発達科学実践総合センター紀要, 教育実践研究, NO.8, 1-6.
- ・ 諸星眞子, 山口一 (2019), 集団(家族・友人・大学・アルバイト先)に対する帰属意識と自尊感情および他受容との関連, 桜美林大学心理学研究, 第10号, 44-58.
- ・ 村上達也, 西村多久磨, 櫻井茂男 (2016), 家族、友だち、見知らぬ人に対する向社会的行動, 教育心理学研究, 64, 156-169.
- ・ 山本琢侯, 上淵寿 (2021), 向社会的行動の対象による向社会的動機づけの差異——青年期初期の子どもの対象に, パーソナリティ研究, 30巻, 2号, 86-96
- ・ 尾関美喜, 朴賢晶, 中島誠, 吉澤寛之, 原田知佳, 吉田俊和 (2008), 社会環境が子どもの向社会的行動に及ぼす影響, 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(心理発達科学), 55, 47-55
- ・ 中村真・松田英子・薊理津子 (2013), 大学生の学校適応に影響する要因の検討—大学不適応, 大学満足, 就学意欲に着目して— 江戸川大学紀要, 23, 151-160
- ・ Eisenberg, N., & Spinrad, T. (2014). Multidimensionality of prosocial behavior: Rethinking the conceptualization and development of prosocial behavior. In L. M. Padilla-Walker & G. Carlo (Eds.), Prosocial development: A multidimensional approach (pp. 17-42). New York: Oxford University Press.

Table 1 向社会的行動および愛着の下位尺度における  
平均値と標準偏差および信頼性係数

変数名	M	SD	α係数
<b>愛着(n=353)</b>			
家族	3.31	0.81	0.95
友達	3.38	0.82	0.95
<b>向社会的行動(n=353)</b>			
見知らぬ人	1.86	1.00	0.74
友達	3.06	1.03	0.83
家族	2.84	1.11	0.82